

# パンデミックの予防、備え及び対応（PPR）に関するWHOの新たな法的文書（いわゆる「パンデミック条約」）作成のための第12回政府間交渉会議再開会合（INB12再）結果概要（2024年12月2日～6日、於:ジュネーブ）

令和6年(2024年)12月9日  
外務省国際保健戦略官室

## 1 会議の概要

※INB: Intergovernmental negotiating body

- INB12(11月会合)に引き続き、合意が得られていない条文について集中的に議論し、一部についてはテキストのコンセンサスに至った。
- 未だ各国間の隔たりが残る論点もあり、今後の会合で引き続き議論を重ね、期限までの交渉妥結を目指す意図が確認された。



INB本会合(於:WHO本部)

## 2 日本の基本方針

- パンデミックの予防、備え及び対応(PPR)の強化のため、国際的な規範の強化は重要。
  - 交渉を通じて、本条約の内容をPPRの強化にとって真に意味のあるものとし、かつ、主要国を含む多くの国が合意できる普遍性を確保することが重要。
- 上記観点から、国際的な感染症対策の強化のため引き続き建設的に参加・貢献していく。

## 3 今後の予定

- 2025年2月17日～21日 INB13会合
- 2025年4月 7日～11日 INB14会合
- 2025年の第78回WHO総会又は、可能な場合にはそれよりも早い時期に招集されるWHO特別総会に成果物を提出。